

⑨ 奥出雲町

農業公社

公社の業務には公益事業と収益事業がある。

公益事業は農地保全

事業として農地保有合理化法人格を有し、開発農地を一次保有するとともに、農家と農業生産法人との農地の賃貸借事業の幹旋や水田の管理受託業務、また、開発営農の定着を進めるための機械作業の受託業務を行っており、今後もその事業の公益性に鑑み一層の業務の効率化を図りたい。

尚、平成八年度に完成した国営農地開発事業で造成された約三〇〇ヘクタールの農地のうち、町所有の売却さ

れていない農地約三十五ヘクタールについて町が一次保有しているが、その取得費（償還額一五五、八四二千元）

は町が年次的に支出しているもので、町財政に多大な影響を及ぼしていることから早い段階で売却に努められたい。

収益事業は畜産振興を図るため繁殖育成牧場と肥育センターを保有していたが、肥育センターについては経営が困難となり、債務七千八百万円を町が負担することとして毎年返済し、平成十一年からJAに管理委託された。

また、農畜産物加工販売施設を充実しレストラン「ピオニ」を開

設したが、これについても経営が困難となったことから加工販売部門はJAに業務委託し、レストラン「ピオニ」

は閉店している。これに伴う債務一億六千五百万円も町が年次的に負担することになって

したがって今後の施設活用について早急に検討されたい。一方、繁殖育成牧場は優良基礎牛の改良育成を基本に、子牛や育成牛の販売をするなど畜産振興に寄与しており、仁多牛の名声の確立に貢献している。

経営については、最近の子牛価格の上昇から安定しているが、今

後は米国産牛肉の輸入再開による影響は少なからずあると考えるので一層の優良牛の生産に努められたい。

今後も農業公社の果たす役割は大きな期待が持たれているが、公社といえども独自採算は原則であり、引き続き健全経営に努め人員の適正配置による業務の効率化を図るとともに一層の農業振興に努められたい。

(単位:千円)

(社)奥出雲町農業公社				
	H15	H16	H17	
【設立年月日】 H1.9				
【資本金】 104.2百万円				
奥出雲町:52.1(50%)				
雲南農業協同組合:51.5(49%)				
その他:0.6(1%)				
※決算月3月(4/1~3/31)				
流動資産	99,406	104,300	68,410	
固定資産	307,764	237,649	226,849	
流動負債	85,078	21,027	245,765	
固定負債	340,108	328,707	34,514	
売上高	271,573	88,463	96,441	
資本金	104,200	104,200	104,200	
累積損失(当期損失)	△122,216(△46,290)	△111,985(10,231)	△89,220(22,765)	
町からの補助金等	64,206	52,195	47,657	
町への寄付金	0	0	0	